

作図条件

- ① 図面のスケールは1/100とし、A3サイズにて作図する。
- ② 壁の厚さは150mmとする。壁芯からの芯振り分けとする。
- ③ 柱の大きさは600角とする。
- ④ 敷地の大きさは22.0m×22.0mとする。
- ⑤ 敷地 (外構)、通り芯、柱・壁、建具、寸法、文字、その他機器の7項目は最低レイヤー分けをおこなうことが望ましい。
- ⑥ 断面線 (柱・壁、建具等) はプリンター出力時に太めの線で出力するので、太く出力する線の色は決めておくこと。
(その他見えかかり線は細く出力するので、見えかかり線の色を決めておくこと)
※作図例においては、緑・白は太く表示する色として設定している。水色、青、黄色は細線としている。

作図方法 (手順)

- ① : 敷地境界線を入力 : 長めの2点鎖線
- ② : 通り芯 (柱芯) を入力 : 長めの1点鎖線 (敷地境界線から追い出し寸法により追い出していく)
- ③ : 壁芯を入力 : 長めの1点鎖線通り芯 (柱芯) より追い出していく)
- ④ : 柱・壁の入力
- ⑤ : サッシ・建具の入力
- ⑥ : 内部機器、家具、キッチン等の入力
- ⑦ : 寸法の入力・文字 (室名等) の入力
- ⑧ : 外構 (植栽・ポーチ・外構壁・フェンス・道路等) の入力

プリンター出力の提出前事前チェックについて (A3サイズ用紙にプリンター出力して提出する)

- ① : 文字の大きさ (誤字・脱字なども)、位置などが適正 (見やすいか?) などをチェックして、成果品としておかしくないか確認すること。
- ② : 各線に切れた部分やずれている部分はないか、コーナー部は包絡されているかなどを確認すること。
- ③ : 寸法にずれや数字のおかしなところはないか確認すること。
- ④ : 断面線が太くなっているか、見えかかり線は細くなっているか確認すること。